

平成 24 年度

施設評価調書

施設の名称……下田幼稚園

所管担当課……教育委員会学校教育課

平成 24 年 7 月

平成 24 年度

施設名（愛称名） 下田市立下田幼稚園

番号 91

設置目的の達成度

1 計画(Plan)と実績(Do)

設置目的	幼稚園教育の基本に基づいて展開される幼稚園生活を通して、生きる力の基礎を育成するよう、家庭との連携を図りながら、生涯にわたる人間形成の基礎を培う。					
運営事業名	H22 年値	H23 年目標値	H23 年実績値	対前年比	目標達成率	評価
幼稚園管理運営事業	59 人	125	67 人	113.6%	53.6%	C
幼稚園施設整備事業、幼保一元化事業	4 施設	4 施設	4 施設	100%	100%	A
設置目的に対する総合評価						
目的達成度の評価基準	<p>目標値→◎目標値＝地域別学区対象年齢児数×1/2 地域別学区対象年齢時（3～5 歳児）の半数（50%）を保育園児とみなし、残り半数は在宅数＝幼稚園児数の指標とし目標値とした。（H23 年度の人口数を使用）</p> <p>どの事業も 5 段階評価の基準を A 90%以上、B 70%以上、C 50%以上、D 30%以上、E 10%以上とする。</p>					

2 現状分析(Check)

運営事業の意義と現状	<p>幼児期における教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なもので、幼稚園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培う場である。働く親が増えている中、保育所利用を希望する家庭が多いため、幼稚園希望者が少なくなっている状況と各施設の老朽化、耐震面から考えると幼稚園、保育所の再編整備は必要と考えられるため、平成 25 年度末を目標に整備を進めている。</p>
上記の原因	<p>少子化の進行、雇用や生活スタイルの多様化による保育ニーズの変化、財政の逼迫と施設の老朽化によるもの。</p>

3 次年度以降への改善点(Action)

具体的な改善方策	施設の規模や状況、立地条件等から考察すると、再編計画においても拠点施設としての役割を担う施設として位置づけていくことが適当だと考えている。施設修繕などを行い、平成 26 年度以降も継続利用していくよう整備が必要。		
H24 年度運営事業と目標値	運営事業名	H24 年度目標値	備考
	幼稚園管理運営事業	130 人	
	幼稚園施設整備事業、幼保一元化事業	4 施設	

※参考 前年度までの運営事業の実績値と評価

運営事業名	H 年度	H 年度	H 年度	H 年度
総合評価				

平成 24 年度

施設名（愛称名）	下田市立下田幼稚園
----------	-----------

番号	91
----	----

効 率 性

1 計画(Plan)と実績(Do)

効率性指標		H22 年度値	H23 年目標値	H23 年実績値	対前年比	目標達成率
①利用単位 当たり経費	A 施設総利用 者数等	59	125	67	113.6%	53.6%
	B 年間経費 (除く収入)	27,204,204	16,219,309	24,972,157	91.8%	154%
	B/A	461,088	114,220	372,719	80.8%	326.3%
②光熱水費		846,264	1,304,000	389,784	46.1%	29.9%
③消耗品費		459,199	350,000	447,873	97.5%	128%
効率性指標の考え方等		A→年度末時点での園児数 目標値→◎目標値＝地域別学区対象年齢児数×1/2 地域別学区対象年齢時（3～5 歳児）の半数（50%）を保育園児とみなし、残り半数は在宅数＝幼稚園児数の指標とし目標値とした。（H23 年度の人口数を使用）				

2 現状分析(Check)

効 率 性 の 現 状	現在各クラス約 20 名の園児がおり、幼児教育を行ううえで最も適正な人数で教育が実施されている。
----------------	--

3 次年度以降への改善点(Action)

具 体 的 な 改 善 方 策	下田幼稚園に関しては、今後も市内における幼稚園教育の拠点施設としての役割を担う施設として位置づけていくことが妥当だと考えるが、今後統廃合を進めることで定員の充足率が上がると考える。		
H24 年度効率性 の 目 標 値	①利用単位当たり経費 B/A	358,965	
	②光熱水費	595,500	
	③消耗品費	360,000	

※参考 前年度までの効率性指標

効率性指標		H 年度	H 年度	H 年度	H 年度
①利用単位 当たり 経費	目標値				
	A 実績値				
	B 実績値				
	B/A				
	対前年比				
	目標達成率				
②光熱水費	目標値				
	実績値				
	対前年比				
	目標達成率				
③消耗品費	目標値				
	実績値				
	対前年比				
	目標達成率				

平成 24 年度

施設名（愛称名）	下田市立下田幼稚園
----------	-----------

番号	91
----	----

4 その他の指標

受益者負担 の適正性	区 分	説 明	単 位	H21 年度	H22 年度	H23 年度
	① 有料部分の 年間経費	使用料等を徴収する部 分の年間経費	円	26,271,843	27,204,204	24,972,157
	② 受益者負担 額	施設の本来の目的によ る使用料等の年間総額	円	3,714,900	3,757,600	3,757,600
	③ 受益者負担 比率	②÷①	%	14.1	13.8	15.0
	④ 補正受益者 負担額	減免者より世紀の料金を 徴収したと仮定した 場合の受益者負担額	円	3,727,100	3,794,200	3,757,600
	⑤ 補正受益者 負担比率	④÷①	%	14.2	13.9	15.0

運営に掛か る税負担 (市民負担)	年度		H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度(予算)
	人口 (4月1日:人)		25,549	25,224	24,881	24,515
	人口 1 人あ たり (円/人)	運営経費 (収入除く)	883	930	935	875
年間総経費		1,106	1,150	1,154	1,093	

平成 24 年度	施設名 (愛称名)	下田市立下田幼稚園	番号	91
----------	-----------	-----------	----	----

利用者満足度調査

実施の有無	■ 有 □ 無	調査の方法	アンケート	H23 年度調査数	前期 66 件 後期 65 件		
○貸館利用者向け							
1 調査結果							
設問	回答種類	H21 年度回答数		H22 年度回答数		H23 年度回答数	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
園は教育目標、重点目標の達成に向けて努力していますか	A (している) B (ややしている) C (あまりしていない) D (していない)	A 38 B 13 C 2 D 1	A 47 B 9 C 1 D 0	A 48 B 5 C 0 D 0	A 53 B 5 C 0 D 0	A 59 B 6 C 0 D 0	A 57 B 7 C 1 D 0
お子さまは、登園を楽しみにし、楽しい園生活を送っていますか	A (している) B (ややしている) C (あまりしていない) D (していない)	A 43 B 11 C 0 D 0	A 50 B 7 C 1 D 0	A 50 B 3 C 0 D 0	A 53 B 5 C 0 D 0	A 58 B 8 C 0 D 0	A 62 B 3 C 0 D 0
園は遊びを充実させたり環境を整えたりするための指導の工夫改善を行っていますか	A (している) B (ややしている) C (あまりしていない) D (していない)	A 43 B 10 C 0 D 0	A 49 B 8 C 1 D 0	A 45 B 8 C 0 D 0	A 46 B 12 C 0 D 0	A 57 B 9 C 0 D 0	A 60 B 5 C 0 D 0
園は家庭への連絡、たよりの発信等を通して、家庭との連携を円滑に図っていますか	A (している) B (ややしている) C (あまりしていない) D (していない)	A 38 B 13 C 2 D 1	A 37 B 19 C 1 D 1	A 42 B 11 C 0 D 0	A 48 B 10 C 0 D 0	A 58 B 8 C 0 D 0	A 58 B 7 C 0 D 0
※今年度寄せられたクレーム等 特になし							
2 調査結果から読み取れること							
<ul style="list-style-type: none"> 全体的にAもしくはBと答えている割合が 90%以上と高い水準である。園の教育に対し、理解と信頼を寄せていることがうかがえる。 							
3 次年度以降への改善点							
<ul style="list-style-type: none"> 教育目標、重点目標にせまる具体的な子どもの育ちや指導の積み重ね等を理解していただくための通信の更なる工夫。 保護者からの意見を真摯に受け止め、すぐに改善できること、時間をかけて改善できること等、全職員で話し合い、よりよい子どもの成長を目指して努力していく。 							

施設修繕計画及び備品購入計画

破損年度	全ての破損した箇所・備品名	経費見積	修繕・買換等 予定年度	備考 (修繕済年度等)
H22	デジタル体重計			H23.5月購入
H22	総合遊具アスレチック機械破損			H23
H22	総合遊具滑り台			H23
H22	総合遊具ロープほつれ			H23
H22	キッチン湯温調節機			
H23	建具引戸調整			H24.1月
※今後想定される維持管理事項 プール、園庭遊具、照明器具修理				

管理運営上のその他評価項目

<p>当該施設の必要性</p> <p>廃止、休止等の可能性</p> <p>施設の設置目的変更の可能性</p>	<p>下田幼稚園に関しては、今後も市内における幼稚園教育の拠点施設としての役割を担う施設として位置づけていくことが妥当だと考える。</p>
<p>民間による管理運営の可能性</p> <p>今後の管理運営主体の見込み</p> <p>行政関与の妥当性</p>	<p>施設の設置目的、民間事業者の未参入という下田市の現状を考えると困難であろうが、適正な運営能力を持つ民間事業者による運営は可能である。運営母体となる民間事業者がない本市の状況下では、行政が主体となって運営にあたらなければならない。</p>
<p>施設の管理運営と経費の妥当性</p>	<p>最小限の経費で維持管理を行うための効率化に努めている。</p>
<p>施設の性質や実費経費からみた受益者負担の妥当性</p>	<p>授業料については、3年毎に見直しを実施、平成18年度に5,000円から6,100円に改定を実施した。平成20年度見直しを検討し平成21年度実施時期であったが、国の推移等を見極めつつ、改定は実施しなかった。</p>
<p>その他の管理運営上の課題</p>	<p>下田市の幼保再編整備計画において、今後も拠点施設として存続していく施設になるため、新設園ができた場合は新設園と同様のサービスが提供できるようにする必要がある。また施設についても存続を考えた中での修繕や整備が必要であり、加えて安全対策も検討していく必要がある。</p>
<p>【参考】 市内や賀茂郡内の類似施設の管理運営状況等</p>	

平成 年度 実施運営事業内容

運営事業名	事業内容	次年度に向けての改善事項

平成 24 年度

施設名 (愛称名) 下田市立下田幼稚園

番号 91

施設の概要

1 施設名 (愛称名)	下田市立下田幼稚園		2 担当課 担当係	学校教育課 こども育成係				
3 所在地	下田市一丁目 17 番 2 号		4 設置年月	大正 14 年 月 日				
5 総合計画の 位置付け	I							
	基本目標		未来の人づくり、幼児教育					
	基本目標を実現 するための施策		項目 幼稚園・保育所の一元化、幼児 教育の充実	内容 組織の構築、新園の整備、教 育活動の弾力化、幼稚園整備				
6 設置目的	幼稚園教育要領に基づき展開される幼稚園生活を通して、生きる力の基礎を育成し、家庭との連携を図りながら、生涯にわたる人間形成の基礎を養う。							
7 設置根拠	下田市立小・中学校及び幼稚園設置条例							
8 施設の概要	施設の概要	敷地面積 4,294 m ² 建築年月 平成 5 年 2 月 建築面積 (鉄骨一部木造) 647.85 m ²						
		園舎 (教室、遊戯室、職員室) 運動場						
	実施事業 の概要	幼稚園における幼児教育 (24.4.1) 3 歳児 22 人 4 歳児 29 人 5 歳児 13 人 合計 64 人						
	料金体系	料金区分	授業料 月額 6,100 円 (8 月分を除く) (H18 料金改定) 給食費 月額 4,100 円 (給食費会計) (H21 料金改定)					
		主な料金	種別	単位	昼	夜	昼夜	備考
	減免内容	(授業料の減免) 第 5 条 市長は、園児が登園しないことが月の初めから末日までに及ぶときは、当月分の授業料を免除することができる。 2 市長は、幼児教育の振興を図るため、園児の保護者に対し、規則で定める場合に該当するときは、授業料を減免することができる。						
		利用料金制度	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					
施設運営 方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接運営							
	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度 →	指定管理者						
	<input type="checkbox"/> 一部委託 →	委託内容						
直接従事職員	(24.4.1 現在) 正職員 3 名 臨時職員 3 名 合計 6 名							
9 市内の 類似施設	下田市所有	吉佐美幼稚園、白浜幼稚園、稲梓幼稚園						
	民間所有							

平成 24 年度	施設名 (愛称名)	下田市立下田幼稚園	番号	91
----------	-----------	-----------	----	----

10 取得費等の情報 (単位：円)	取得費及び財源内訳		平成 23 年度末残高				(備考) 減価償却の方法 ・ 定額法 ・ 残存価 1 円 ・ 新設翌年度から償却 ・ 耐用年数 34 年 (償却満了 H5.2~H39.1)				
	土地取得費		土地残高								
	建物取得費	174,089,000 円	建物減価償却後残高		87,044,512 円						
	財源内訳		年間償却額算定式								
	国・県支出金		174,089,000 円 ÷ 34 年 = 5,120,264 円								
	市債		市債残高		5,545,375						
	一般財源										
寄附金等											
物品(*万円以上)		物品減価償却後残高									
11 年間経費等推移 (単位：円)	区 分		H21 年度決算	H22 年度決算	H23 年度決算	H24 年度予算					
	収入	幼稚園使用料	3,714,900	3,757,600	3,757,600	4,026,000					
	収入合計		3,714,900	3,757,600	3,757,600	4,026,000					
	支出	1 節 報酬	137,700	165,670	129,825	129,750					
		2 節 給料	11,373,682	11,034,577	13,039,879	11,331,000					
		3 節 職員手当等	4,672,282	4,345,275	4,964,158	4,349,182					
		4 節 共済費	2,808,285	2,762,508	3,459,743	2,966,727					
		7 節 賃金	3,842,790	5,051,971	4,108,750	3,942,857					
		9 節 旅費	68,473	64,233	49,518	47,182					
		11 節 需用費	1,878,460	2,123,294	1,570,928	1,230,600					
		12 節 役務費	213,553	216,843	146,358	183,545					
		13 節 委託料	403,982	403,718	382,464	414,270					
		14 節 使用料及び賃借料	828,752	824,297	1,072,084	825,530					
		18 節 備品購入費	0	170,520	113,820	0					
		19 節 負担金補助及び交付金	43,884	41,297	43,380	60,140					
		支出合計		26,271,843	27,204,204	29,080,907	25,480,783				
	減価償却費		5,120,264	5,120,264	5,120,264	5,120,264					
	市債利子		534,756	430,944	322,620	209,588					
	職員人件費										
	下田市負担年間総経費		28,211,963	28,997,812	30,766,191	26,784,635					
備考											
12 施設利用状況等の推移	利用状況	年 度	H21.5.1		H22.5.1		H23.5.1		H24.5.1		
			クラス数	幼児数	クラス数	幼児数	クラス数	幼児数	クラス数	幼児数	
		3 歳児	1	15	1	15	1	25	1	22	
		4 歳児	1	20	1	19	1	17	1	29	
		5 歳児	1	19	1	21	1	22	1	13	
		合 計	3	54	3	55	3	64	3	64	
		参考：利用単位 当たり市負担額	522,444 円/人		527,233 円/人		480,722 円/人		418,510 円/人		
			算出方法：11 欄の「下田市負担年間総経費」÷利用者数								
	休園日	土曜日・日曜日、祝日、夏季・冬季・春季休暇									
	教育時間	4 時間									

(参考資料)